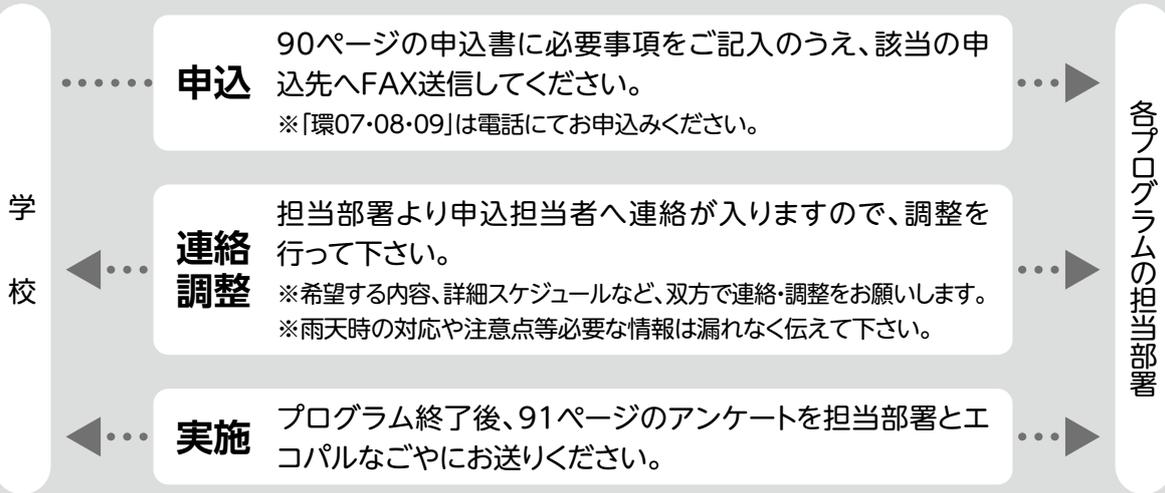


3

環境局等による 出前講座

プログラムの申込方法



環境局等

小学生・中学生

環01

自然共生

受講対象 小・中学生

形態 講義・体験

「ビオトープ」に生きものを呼ぼう!

15 後の豊かさも
守ろう



	所要時間	約45分(応相談)
	開催場所	校内ビオトープまたは室内(教室・視聴覚室等)
	募集人員/回	約40名(学年またはクラス単位を想定)
	実施可能時期	平日昼間/年間5回程度
	用意が必要なもの	(室内開催の場合)パソコン・プロジェクター・スクリーン
内容	「ビオトープ」とは、「生きものが暮らす場所」という意味の言葉です。学校にある池や小川、植栽なども少しの工夫で生きものにとって住みよい場所にすることができます。各学校に設置した「ビオトープ」にやって来る生きものの観察や環境づくり、維持管理のコツなどについての出張講座を行います。また、ビオトープを設置していない学校については、動物の標本等の持ち込みによる生きもの観察も可能です。	
備考	教材等を持ち込む場合がありますので、駐車場の確保にご協力ください。希望により、なごや生物多様性センター(天白区)で講義を行うこともできます。	

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 なごや生物多様性センター

E-mail : bdnagoya@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp

TEL : 052-831-8104

FAX : 052-839-1695

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環02

自然共生

受講対象 小・中・高校生

形態 講義

なごやの希少な生物と外来種対策

15 陸の豊かさを守ろう



所要時間	約45分(応相談)
開催場所	室内(教室・視聴覚室等)
募集人員/回	約40名(学年またはクラス単位を想定)
実施可能時期	平日昼間/年間5校程度
用意が必要なもの	パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

内容	<p>なごや生物多様性センターでは、市民と協働して、名古屋市の生物多様性の保全に取り組んでいます。緑地やため池などで生物調査を行い、希少な生物がどれほど残っているかを調べるとともに、生態系等に影響を及ぼす外来種の防除に向けた取組みを行っています。</p> <p>このような市民協働の取組みについて、講義でお伝えします。</p>
備考	<p>教材等を持ち込む場合がありますので、駐車場の確保にご協力ください。</p> <p>希望により、なごや生物多様性センター(天白区)で講義を行うこともできます。</p>

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 なごや生物多様性センター	E-mail : bdnagoya@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-831-8104	FAX : 052-839-1695

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環03

自然共生

受講対象 小学生以上

形態 講義

私たちの暮らしと生物多様性について 考えてみよう!!

15 陸の豊かさを守ろう



所要時間	約45分(応相談)
開催場所	室内(教室・視聴覚室、体育館等)
募集人員/回	40名
実施可能時期	通年(平日昼間/年間10校程度)
用意が必要なもの	パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン (用意できない場合は紙媒体の講義も可能)

内容	<p>生物多様性って何?私たちの暮らしに関係あるの?</p> <p>生物多様性や生物多様性に配慮した生活スタイルについて、わかりやすく紹介します。</p>
備考	事前打合せが必要となります。ご要望に応じて柔軟に対応しますのでお気軽にご相談ください。

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 環境企画部 環境企画課	E-mail : a2662-01@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-972-2698	FAX : 052-972-4134

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環境局等

小学生・中学生・高校生

環04

自然共生

受講対象 小・中学生

形態 講義・WS

14 海の豊かさを
守ろう



藤前干潟を学ぼう!

	所要時間	45分又は90分
	開催場所	室内(教室、体育館、視聴覚室等)
	募集人員/回	10~40名(これ以上の場合は応相談)
	実施可能時期	通年(平日昼間/月間2~3校程度)
	用意が必要なもの	パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル、事務機

内容	<p>藤前干潟の特徴を紹介し、写真や干潟の生きもの(カニ、トビハゼ等)を用いて食物連鎖の関係や命のつながり、生態系や自然界における干潟の重要性をお話します。また、藤前干潟が現在までどのように守られてきたのかを伝え、さらに、藤前干潟で起こっている様々な問題から、自分たち一人一人に何が出来るのかを考えてもらいます。</p> <p>※なお、季節や天候によっては、藤前干潟の生きものをご用意出来ない場合もございます。</p>
備考	所要時間によって内容を変更します(応相談)

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境省 名古屋自然保護官事務所	E-mail : WB-NAGOYA@env.go.jp
TEL : 052-389-2877	—

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

そうだ！藤前干潟に行ってみよう！！

藤前干潟では、四季折々に訪れる鳥たちや、生きものたちの輝き、不思議で精妙な自然のしくみを学ぶことができます。

干潟の野鳥が望遠鏡で観察できる「名古屋市野鳥観察館」や、野鳥の生態が総合的に学習できる「ラムサール条約湿地藤前干潟稲永ビジターセンター・藤前干潟活動センター」があります。

遠足や環境学習に、SDGsの取組みに、藤前干潟を訪れてみませんか？

藤前干潟で、すてきな出会いを体験してみてください。

※干潟を見るには干潮時刻の1時間前に行くようにしましょう！

見学のお申込み・お問合せは… (団体の利用は事前予約が必要です)

ラムサール条約湿地藤前干潟 稲永ビジターセンター
TEL.052-389-5821 FAX.052-389-5822

ラムサール条約湿地藤前干潟 藤前干潟活動センター
TEL.052-309-7260 FAX.052-309-7261

名古屋市野鳥観察館
TEL.052-381-0160 FAX.052-381-0160

【開館時間】 9:00~16:30

【休館日】 施設にお問合せください

【利用料】 無料



環境局等

小学生・中学生

環05

自然共生

受講対象 小・中・高校生 形態 講義

顕微鏡をのぞいてみよう! ～水の中の小さな生きもの～

11 住み続けられるまちづくりを



所要時間	約90分(人数、時間割などにより応相談)
開催場所	室内(教室等)
募集人員/回	約30名
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	電源、スクリーン、(あれば)プロジェクター

内容	<p>水の中にすむ小さな生きもの(たとえばプランクトンや川の中の石にくっついて生活する藻類)を顕微鏡で観察します。</p> <p>開催場所の近くに水辺がある場合は、そこにいる微小生物の観察も可能です(要相談)。</p> <p>生きものの観察を通して、水中の微小生物の役割、水の汚れとの関係などについて一緒に考えていきましょう。</p>
備考	

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境科学調査センター(環境科学室)	E-mail : a6928481@kankyokiyoku.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-692-8481	FAX : 052-692-8483

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環境局等

小学生・中学生・高校生

環06

自然共生

受講対象 小・中・高校生 形態 講義・WS

なごやをめぐる水を考える～なごやの水循環～

6 安全な水とトイレを世界中に



所要時間	約45分～(応相談)
開催場所	室内(教室、体育館等)
募集人員/回	応相談
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	電源、プロジェクター、スクリーン

内容	<p>空から降った雨は、地中にしみこみ地下水となり、川や海に流れ、蒸発して雲になり、また雨となって空から降ってきます。このように水が姿を変えながら地球をめぐることを「水循環」といいます。</p> <p>市街地の整備や拡大に伴って、建物や舗装面が広がり水循環の面から見ると、雨を貯めたりしみ込んだりしにくく、蒸発しにくい地表面が広がり、都市型水害やヒートアイランド現象の一因となっています。</p> <p>水循環について学びながら、身近な水を守り、健全な水循環を回復するために、私たちに何ができるのかを考えてみましょう。</p>
備考	鶴舞中央図書館に湧き出ている湧き水の見学施設「つるのめぐみ」の見学をしながら環境学習を行うことも可能です。お気軽にご相談ください。

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 地域環境対策課	E-mail : a2675@kankyokiyoku.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-972-2675	FAX : 052-972-4155

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環07

脱炭素

受講対象 **小・中(主に小学生高学年)** 形態 **講義**

私たちのくらしと地球温暖化

13 気候変動に
具体的な対策を



所要時間	約45分(応相談)
開催場所	室内(教室、視聴覚室)
募集人員/回	約40名程度(応相談)
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

内容	私たちのくらしと地球温暖化の関係について学び、環境にやさしい生活に向けて、どのようなことができるのか考えるためのきっかけづくりを行います。
----	---

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

各区保健福祉センター		
名東区公害対策課	担当区：千種、昭和、守山、名東	TEL：052-778-3108
西区公害対策課	担当区：東、北、西、中村、中	TEL：052-523-4613
南区公害対策課	担当区：瑞穂、南、緑、天白	TEL：052-823-9422
港区公害対策課	担当区：熱田、中川、港	TEL：052-651-6493

お申込みは
各公害対策課へ
電話でお申込みください

環08

循環型

受講対象 **小学生(主に4年)** 形態 **講義・観察**

収集車を見ながら学ぶ 資源とごみの分け方・出し方

12 つくる責任
つかう責任



所要時間	90分
開催場所	教室・校庭
募集人員/回	応相談(各区環境事業所へお問合せください) ※収集業務優先のため、ご希望に沿う対応が難しい場合もあります。
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	パンフレット類説明時用スペース(教室等)、収集車前説明時用スペース(運動場の一部等)、マイク、長机、黒板等

内容	ごみの分別学習、クイズなどの講義で分別・リサイクルの大切さを学び、ごみ収集車を前に分別や投入作業を体験します。
----	---

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

各区環境事業所 所長補佐(指導管理) 宛			
千種環境事業所	TEL：052-771-0424	東環境事業所	TEL：052-723-5311
北環境事業所	TEL：052-981-0421	西環境事業所	TEL：052-522-4126
中村環境事業所	TEL：052-481-5391	中環境事業所	TEL：052-251-1735
昭和環境事業所	TEL：052-871-0504	瑞穂環境事業所	TEL：052-882-5300
熱田環境事業所	TEL：052-671-2200	中川環境事業所	TEL：052-361-7638
港環境事業所	TEL：052-382-3575	南環境事業所	TEL：052-614-6220
守山環境事業所	TEL：052-798-3771	緑環境事業所	TEL：052-891-0976
名東環境事業所	TEL：052-773-3214	天白環境事業所	TEL：052-833-4031

お申込みは
各環境事業所へ
電話でお申込みください

環境局等

小学生・中学生

環09

循環型

受講対象 小・中・高校生、特別支援学級

形態 講義

12 つくる責任
つかう責任



ごみの分別



所要時間	約45分
開催場所	室内(教室等)
募集人員/回	応相談(各区環境事業所へお問合せください)
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	説明時用スペース(教室等)、マイク、長机、黒板等

内容	分別の意義と方法を楽しく学び、児童、生徒が身近に実践できる地球環境保全行動として家庭生活の中に生かしていきます。
----	--

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

各区環境事業所 所長補佐(指導管理) 宛			
千種環境事業所	TEL: 052-771-0424	東環境事業所	TEL: 052-723-5311
北環境事業所	TEL: 052-981-0421	西環境事業所	TEL: 052-522-4126
中村環境事業所	TEL: 052-481-5391	中環境事業所	TEL: 052-251-1735
昭和環境事業所	TEL: 052-871-0504	瑞穂環境事業所	TEL: 052-882-5300
熱田環境事業所	TEL: 052-671-2200	中川環境事業所	TEL: 052-361-7638
港環境事業所	TEL: 052-382-3575	南環境事業所	TEL: 052-614-6220
守山環境事業所	TEL: 052-798-3771	緑環境事業所	TEL: 052-891-0976
名東環境事業所	TEL: 052-773-3214	天白環境事業所	TEL: 052-833-4031

お申込みは
各環境事業所へ
電話でお申込みください

環10

循環型

受講対象 小・中・高校生

形態 講義・WS

12 つくる責任
つかう責任



ごみ非常事態宣言から「これまで」と「これから」



所要時間	講義のみの場合45分、グループワークも含む場合90分
開催場所	室内
募集人員/回	応相談
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	パソコン、プロジェクター、スクリーン、マイク

内容	<p>1 講義(約45分) およそ20年前、名古屋ではごみの量が右肩上がりが増える中、名古屋港にある藤前干潟を埋め立てる計画を取りやめ「ごみ非常事態宣言」を発表しました。この講義ではこれまで名古屋のみなさんと協力して取り組んできたごみ・資源の分別・リサイクルなどについて学びます。</p> <p>2 グループワーク(約45分) ごみを減らすためにどのようなことができるか。グループでアイデアを出し合い発表していただきます。</p>
備考	

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 資源循環企画課	E-mail: a2378@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp
TEL: 052-972-2398	FAX: 052-972-4133

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環境局等

小学生・中学生・高校生・特別支援学級

環11

循環型

受講対象 小・中・高校生

形態 講義・動画視聴

12 つくる責任
つかう責任



食品ロスの削減について考える



所要時間	約45分
開催場所	室内(教室、視聴覚室等)
募集人員/回	応相談
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン、マイク

内容	<p>【講義】 毎日の暮らしに身近な生ごみを切り口に、食品ロス(本来食べられるのに捨てられてしまう食品)を出さないようにする工夫など、環境にやさしい食生活について学びます。また、生ごみを手軽にリサイクルする方法についても紹介します。</p> <p>【動画視聴】 食品ロスについての動画を視聴します。</p>
備考	

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 資源循環推進課	E-mail : a2297@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-972-2390	FAX : 052-972-4133

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環12

健康安全

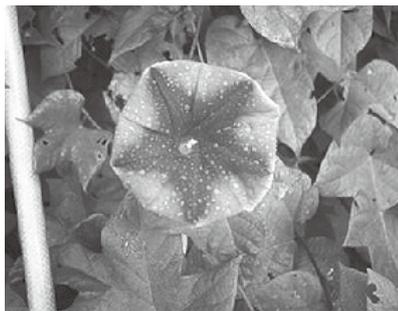
受講対象 小・中・高校生

形態 講義・実験

11 住み続けられる
まちづくりを



色の違いでしらべてみよう! ~酸性雨~



所要時間	約90分(応相談)
開催場所	室内(教室等)
募集人員/回	約30名
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	電源、スクリーン、(あれば)プロジェクター、パソコン(パワーポイント)

内容	<p>じつは名古屋市でも降っている酸性雨。どうして酸性雨が降るのでしょうか?植物や銅像などへの影響の様子をお話しします。</p> <p>あわせて、紅芋粉を使った酸性・中性・アルカリ性を調べる実験(小・中学生)や、雨のpHの測定(小・中・高校生)を体験します。</p>
備考	申込者によって採取した雨の調査を希望する場合には、事前にご相談ください。

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境科学調査センター(環境科学室)	E-mail : a6928481@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-692-8481	FAX : 052-692-8483

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環境局等

小学生・中学生・高校生

環13

健康安全

受講対象 **小学生(主に高学年)** 形態 **講義・体験**

視程調査で学ぶ私たちの暮らしと大気汚染

11 住み続けられるまちづくりを



所要時間	45分
開催場所	室内(教室等)及び室外(校庭等で見通しの良い場所)
募集人員/回	20~40名
実施可能時期	通年(平日昼間/年間10校程度)
用意が必要なもの	パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

内容	<p>普段当たり前吸っているけれど、生きていくうえでなくてはならない空気。名古屋の大気汚染の現状や、きれいな空気を守るために私たちにできることをお話します。</p> <p>大気汚染による空気の汚れは、遠くの目標物(高層ビル、タワーなど)の見え具合(視程)と相関があります。実際に遠くを見渡しなが、空気の汚れを知るとともに、私たちが暮らしの中で大気環境を守るためにできることを学びます。</p>
備考	申し込み前に屋上や教室の窓から目標物(高層ビル、タワー、山等)があるかご確認をお願いします。

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 大気環境対策課	E-mail : a2674@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-972-2674	FAX : 052-972-4155

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環境局等

小学生

環14

健康安全

受講対象 **小学生(主に高学年)** 形態 **講義・体験学習(実物を見学)**

エコカーについて学ぼう!



所要時間	70分
開催場所	室内、屋外
募集人員/回	最大70名程度(超える場合は応相談)
実施可能時期	通年(平日昼間)/年間16校
用意が必要なもの	プロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル

内容	<p>1 講義(約30分) 自動車による大気汚染やエコカーを使う意義、それぞれのエコカーの特徴などについて説明します。</p> <p>2 体験学習(見学)(約30分) 燃料電池自動車やプラグインハイブリッド自動車等を実際に見て、環境にやさしいエコカーを身近に感じてもらいます。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・申し込み期間 令和8年5月1日(金)まで ・募集校数を超えた場合は抽選とさせていただきます。 ・3・4時間目または5・6時間目での申込をお願いします。 ・同乗試乗はできません。 ・2クラスまでは合同授業となります。3クラス以上はご相談ください。

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 大気環境対策課	E-mail : a2682@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-972-2682	FAX : 052-972-4155

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環15

循環型

受講対象 小・中・高校生

形態 講義

11 住み続けられるまちづくりを



プラスチック問題について学ぼう



所要時間	45分
開催場所	室内
募集人員/回	応相談
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	パソコン、プロジェクター、スクリーン、マイク

内容	<p>プラスチックは、幅広く製品や容器包装に利用され、私たちの生活に必要な不可欠な素材である一方で、海洋へのプラスチックごみの流出による海洋汚染をはじめとして、資源枯渇や地球温暖化など様々な分野に影響を及ぼし、世界的な課題となっています。</p> <p>プラスチック問題とは何か、また問題に対して何ができるのかについてお話しします。</p>
備考	

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 資源循環企画課	E-mail : a2378@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-972-2398	FAX : 052-972-4133

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環16

循環型

受講対象 小・中・高校生

形態 講義・体験

12 つくる責任
つかう責任



生ごみのリサイクルに挑戦!



所要時間	約45分
開催場所	室内(教室、視聴覚室等)
募集人員/回	応相談
実施可能時期	通年(平日昼間)
用意が必要なもの	横長机1本、パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン、マイク

内容	<p>【講義】暮らしに身近な生ごみをテーマに資源循環について学びます。</p> <p>発生抑制：生ごみを減らそう!</p> <p>資源循環：生ごみをリサイクルしよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみから堆肥へ、堆肥から食べ物へ(循環の環) ・ふしぎな段ボールコンポスト(微生物による分解) ・様々なリサイクル(飼料化など) <p>【動画視聴】生ごみ堆肥の作り方を視聴します。</p>
備考	<p>講義後に段ボールコンポストをお渡ししますので(任意)、給食の食べ残しなどを使って、生ごみの堆肥化を実践することができます(段ボールコンポストは1クラスあたり1個まで)。生ごみの分解が進みやすい5~9月がおすすめです。</p>

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 資源循環推進課	E-mail : a2297@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-972-2390	FAX : 052-972-4133

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環17

総合

受講対象 小学生(中高学年)

形態 講義・ワークショップ

みんなで伝えよう! 生きもののためにできること



 名古屋市 <small>City of NAGOYA</small> 	所要時間	45～90分
	開催場所	室内(教室棟)
	募集人員/回	応相談
	実施可能時期	通年(平日昼間)
	用意が必要なもの	パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

内容	<p>生物多様性の大切さや、毎日の「買いもの」のなかで実践できる行動を学び、みんなの言葉・イラストで店内ポップを作って伝えましょう!</p> <p>(講義) 私たちの生活と生きものとのつながりや、企業が行う生物多様性に配慮した取り組みについてお話しします。</p> <p>(ワークショップ) 生物多様性の大切さを伝えるポップを作ります。 作ったポップは市内のセブン-イレブンで掲示されるかも?!</p>
備考	<p>株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの共催講座です。講義45分、店内ポップの作成45分程度を想定しています。(推奨) 45分で実施する場合は、店内ポップの作成は各校にて別途実施をお願いします。</p> <p>学校近隣の店舗との調整の結果、実施できない場合がありますのでまずはご相談ください。</p>

■ プログラム内容に関する申込・質問は下記宛先に直接ご連絡ください。

環境局 環境企画課	E-mail : a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
TEL : 052-972-2698	FAX : 052-972-4134

お申込み方法は
P.44 をご覧ください

環境局等
小学生

なごや環境大学から先生のみなさんへ

なごや環境大学は愛知万博の年に誕生しました。なごや環境大学では、まちじゅうがキャンパスをモットーに、脱炭素・自然共生・資源循環・健康安全・まちづくり・国際協力・多文化共生・人づくりなど、様々なテーマの活動や講座をまとめて発信しています。園や学校での環境学習やSDGsの取り組み、地域の学習などに役立つ情報が、きっとたくさん見つかると思います。

さあ、なごや環境大学の扉を開いて見ませんか?
新しい何かを感じたら、ぜひ参加してみてください。
未来への扉がいっぱいに開かれるかもしれません。



まずはウェブサイトをご覧ください!

<https://www.n-kd.jp/event>



check!

